

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	760-5445
部 名	経済部	課 名	商業観光課		課長名	加藤 一嘉
事務事業名	相模川自然の村管理運営事業					
予算上の事務事業名	相模川自然の村管理運営費					

1 総合計画における位置づけ 施策コード 35220

基本目標 「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして

政 策 名 第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます

基本施策名 第2節 観光の振興と余暇対策の推進 事業開始年度

施 策 名 第2施策 余暇利用施設の充実 平成8年度 ▼

2 実施根拠及び関連法令・条例等

相模原市立自然の村条例、相模川市立自然の村条例施行規則、旅館業法

3 個別計画の概要 概要

計画名				
計画年次	年度～	年度		

4 事業形態の区分 施設運営 ▼

5 事業概要

(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)

市の公共宿泊施設として、相模川の豊かな自然を背景に、市民の憩いと安らぎの場となるよう施設運営に努める。
 宿泊室 10室、定員47名
 付帯施設 大広間、会議室
 その他の施設 娯楽室(カラオケ、マージャン)、レストラン、浴場等

一般(個人、家族、団体等)

(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。

施設利用状況
 宿泊者数 8,017人
 客室稼働率 74.3%
 付帯施設利用者数 会議室2,043人、大広間1,092人
 施設使用料
 客室27,414千円、付帯施設316千円 計27,730千円

6 関連・類似事業や他市の状況

本市における類似施設(宿泊施設)としては、「たてしな自然の村」及び「相模川自然の村野外体験教室」がある。他自治体も管理運営を委託しているケースがほとんどであるが、使用料等の料金設定は、設置目的や施設の形態、設置場所等によって異なる。

7 事業費の推移 [単位:千円]

年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	131,915	111,380	105,547	101,470	68,469
一般財源	100,640	81,413	72,526	68,469	68,469
受益者負担金	31,275	29,967	33,021	33,001	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	839	801	807	807	0
事業コスト合計(a)	132,754	112,181	106,354	102,277	68,469

8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)

主たる事業名	相模川自然の村管理運営事業			対象名称(単位)	宿泊者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	132,754	112,181	106,354	102,277	68,469
対象数	8,624	8,293	8,014	8,000	8,000
単位あたり経費(円)	15,394	13,527	13,271	12,785	8,559
前年度比		0.88	0.98	0.96	0.67

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	宿泊定員数（人）		指標式と指標の説明	宿泊者数（人）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	8,624.0	8,293.0	8,014.0		
目標	15,839.0	15,886.0	15,839.0	0.0	0.0
目標達成度	0.54	0.52	0.51		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	宿泊者数の増加（人）		指標式と指標の説明	宿泊人員の目標 / 宿泊者数 * 100 目標に対する割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	8624.0	8293.0	8014.0		
目標	9000.0	9000.0	9000.0	9000.0	10000.0
目標達成度	95.8	92.1	89.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業 〔 〕：概ね良好な状況である事業 〔 〕：見直しを行う必要がある事業 〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		平成18年度より指定管理者制度を導入	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
本事業については、市の行政改革の一環として、職員数を減らし、民間への委託業務の範囲を拡大してきた。しかし、市民へのサービスの向上及び効率的な管理をより高めるためには、民間で一体的に管理することが必要である。			同一建物内にある野外体験教室との管理体制の確立		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		指定管理者制度の導入。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			